

2023年度業務実績報告書

提出日 2024年1月18日

1. 職名・氏名 助教・平井 宏美

2. 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 新潟医療福祉大学大学院、授与年 2014年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学（2）3年前期
②内容・ねらい 妊娠期、分娩期、産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的、精神的、社会的側面からその特徴を概説し、ウェルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点においた看護の必要性和具体的援助の実際について講義および演習を行った。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 母性看護学の看護過程の展開では、主にグループワークで演習を行い、学生が主体的に取り組めるようにした。技術演習では、新生児モデル等を用いて、実際のケアを学生がイメージしやすい授業展開を取り入れた。学生が技術を実施する際には、手を添えながら丁寧に関わることを意識した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・母性看護学実習（2）3年後期
②内容・ねらい 周産期にある母子とその家族を対象として、看護アセスメント・看護計画立案・看護実践と評価を行い、基本的な看護実践能力を身につけるとともに、母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受け持ち対象者に沿った看護、特にウェルネスの観点から看護の必要性を考えて実践できるように指導した。また、学生の実習体験がグループ全員で共有できるような関わりを持った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・卒業研究（3）4年通年
②内容・ねらい 母性看護領域に関する研究テーマにおいて、卒業論文を作成する過程で科学的思考力を養い、自ら探究する態度と研究能力の基礎を身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の興味・関心あるテーマから研究の視点を見出し、研究のプロセスが理解できるように関わりを持つ。また、教員と学生全員でディスカッションすることで、多様な考えを知ったり、思考の整理ができるようにサポートした。最終的に、卒業論文を作成し、その内容を母性・小児領域内での発表会でプレゼンした。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
・ 科研費 2022 年～2025 年 基盤研究(C) 22K10926 の研究分担者である。	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- ・ 高校入試説明会：鯖江高校、zoom によるオンライン説明会、R4.7.28
- ・ 福井県助産師会 災害時活動協力員

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・ 看護学科科内委員：看護発展セミナー

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など